

平成25年 6月 5日
北海道旅客鉄道株式会社

函館線 然別～仁木間の踏切遮断機が下りきっていなかった事象について

- 1 発生日時 平成25年6月2日（日） 20時07分頃
- 2 発生場所 函館線 ^{しかりべつ}然別～^{にき}仁木間 ^{のもと}野本踏切（余市郡仁木町西町11丁目128）

3 概 況

6月2日（日）20時07分頃、函館線 然別～仁木間の野本踏切（警報機・遮断機付き）の異常を札幌の指令センターで検知しました。さらに、20時07分頃、倶知安の指令センターに、長万部 17時44分発 小樽行き 普通列車（1両）の運転士より、当該踏切の警報は鳴動していたが遮断機が降下していないように見えたとの連絡が入りました。当該列車は当該踏切から約700m通り過ぎた地点に一旦停車しましたが、倶知安の指令センターとの無線交信を終え、6分後に運転を再開しました。

なお、当該列車が当該踏切を通過した際、通行人や通行車両はありませんでした。

現地調査の結果、列車検知のためにレールに設置されているケーブルの脱落を発見しました。また、当該踏切は故障検知機能の作動により、当該列車が踏切に到達する12秒前に警報の鳴動を開始し、遮断機は当該列車が踏切に到達する3秒前に降下を開始していましたが、当該列車通過時点では遮断機の降下は完了していなかったことが判明しました。

当該踏切はケーブル交換の復旧作業を行い、翌日（6月3日）の1時15分に復旧しました。

4 原 因

レールに電気を流すケーブルの脱落により、列車在線位置が認識できず、当該列車が当該踏切に接近している状態を検知できなかったため。

5 付 記

- （1）当該列車は、時速約70kmで当該踏切を通過しています。
- （2）事象発生以降の3本の普通列車（下り列車1本、上り列車2本）は、当該踏切に関係社員を配置した上で、当該踏切手前で一旦停止し、安全確認をした上で運転しています。
- （3）当該踏切は、幅員3.5m、踏切長13.9mです。